

**DAYTONA  
INTERNATIONAL**

# **SUSTAINABILITY ACTION 2024**

**ENVIRONMENT / VALUE CHAIN / PEOPLE / COMMUNITY**



# みんなと生きる、豊かな未来へ

デイトナ・インターナショナルは  
みんなと生きる、豊かな未来を実現するために  
多様なカルチャーや価値観を大切に  
私たちにできること、楽しみながらできることから  
取り組んでいます。

## FOCUSED AREAS

注力領域

01



ENVIRONMENT

豊かな地球を次世代に

02



VALUE CHAIN

責任ある行動をみんなで

03



PEOPLE

多様な個性を輝かせる

04



COMMUNITY

地域の魅力を最大化し、発信する

# 01



## ENVIRONMENT

# 豊かな地球を次世代に

ファッション業界の衣料廃棄・大量生産などの深刻な環境課題に対して  
デイトナ・インターナショナルは下記の取り組みを実施しました。  
高い消化率の維持・向上や、捨てないという選択のアップサイクルプロジェクトに参画し、  
常に課題解決に向けて取り組んでいます。

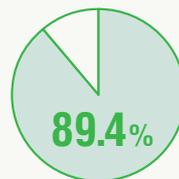
## CO2排出モニタリング

2023年1月よりScope1計測開始。  
算定対象範囲:FREAK'S STORE店舗、その他自社ブランド店舗、本社、物流倉庫

	年間消費電力(kwh)	CO2排出量(tCO <sub>2</sub> )
2023	2,572,591	1,034
2024	2,743,715	1,088

## 高消化率の維持・向上

デイトナ・インターナショナルは商品廃棄ゼロを目標としています。  
2024SSはシーズン消化率89.4%  
さらに2024FWはシーズン消化率90.9%  
引き続き年間消化率100%を目指しています。



2024SS  
シーズン消化率



2024FW  
シーズン消化率

## Firsthand オリジナルレザー小物の売上の一部を Bangladesh の学校へ

“実は社会貢献に参加していた”をひとつのベネフィットとして考えているシリーズ。



キャッチーなデザインや実用性に拘り“バッグを気に入って買ってくれた方が、実は社会貢献にも参加出来ている。”という仕組みを取り入れており、2022年春から現在まで販売数約9,381点の売上げの一部を生産国である Bangladesh の非営利団体“JAAGO Foundation(ジャーゴ ファウンデーション)”へ寄付しています。

寄付金は“Donate for School Stationary”として、子供たちにとって必需品である文房具を提供するために使用されます。バッグ1つを購入いただくことで、ボールペン・消しゴム・鉛筆のいずれかを提供。Firsthandは、Bangladesh の教育支援を通して貧困の連鎖を断ち切ることを願い、これからも持続可能な社会を目指します。



## ZOZO×FREAK'S STOREの共同企画 「コネクトプロジェクト」が始動

～ ファッションで人と人をつなぎ、豊かな未来の実現を目指す ～

ファッションEC「ZOZOTOWN」を運営する株式会社ZOZOとともに、サステナビリティ企画「connect project(以下、コネクトプロジェクト)」を始動。

本企画は、地域社会と次世代に向けてファッションのサステナビリティを楽しく伝え、アクションし続けていくプロジェクト。ステークホルダーとつながりながら、地域の様々な課題を解決していきたいという両社の想いが合致し、ファッション業界が抱える環境・社会課題に対する共通の意識から、企画が始動。年間を通して、地域や次世代を巻き込んだ様々な施策を展開しています。



生産支援プラットフォーム「Made by ZOZO」の受注生産の仕組みを活用し、オーガニックコットンTシャツとスウェットシャツの全2型をZOZOTOWNで販売。キービジュアルのデザインは、ファッション誌などを中心に活躍するイラストレーターの佐藤薫氏が担当し、本企画の人と人がつながって楽しみながらサステナブルな未来を目指す姿が描かれています。

さらに10月には千葉商科大学 瑞穂祭にて古着でバッグを作るワークショップ「UPCYCLE ATELIER」を開催。古着や不要サンプルを活用し、学生や地域の方々約170名が参加しました。

# 02



## VALUE CHAIN

# 責任ある行動をみんなで

環境・社会・経済面で、持続可能な商品開発などに取り組んでいます。

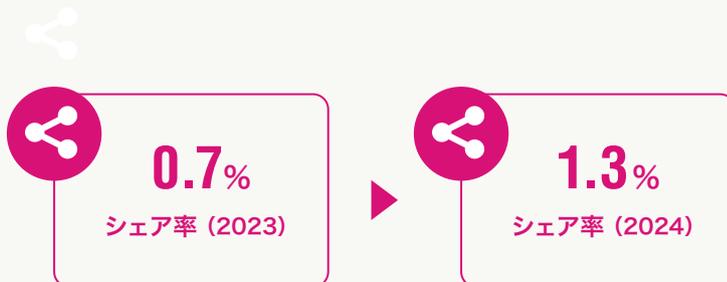
## サステナブルマークの増加

お客様・働くスタッフなど、商品を目にする人々にサステナブルな商品選定を促すべく、2022年秋冬から「サステナブルポリシーに従った各商品に該当する特徴を表記」、「商品タグにサステナブルマークをつける取り組み」の2つを行っています。

2023年は商品発注金額全体に対するサステナブルマーク対象商品は前年比201.8%に増え、シェア率も0.7%だったのに対して、2024年は1.3%までに増加しました。



サステナブルマーク



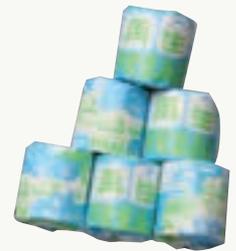
商品に対するサステナブルマーク対象商品のシェア率

※ 集計方法の変更により SUSTAINABILITY ACTION 2023 とは異なる数値となっております。



## 「再生FREAK」の始動

2024年11月より、渋谷区内に所在するデイトナ・インターナショナル本社と FREAK'S STORE渋谷にて、レシートを始めとする捨てるはずだった古紙をリサイクルBOXへ回収。多い時には1回の回収で約610kgにもなります。回収した古紙はトイレトペーパーへリサイクル。古紙をトイレトペーパーに再生することで、木の伐採を一定量減少、温室効果ガス排出を抑制するなど環境負荷低減に大きく寄与すると考えています。また、セレクトショップが関わる強みとして、リサイクルしたトイレトペーパーの包み紙を、FREAK'S STOREならではの視点でデザイン監修しました。包み紙を広げると再生FREAKの古紙回収の全容が分かるイラストになっている仕組みです。



### 地域が生み出すサステナブルな未来



### 地球を救うリサイクルの効果

古紙1トンあたりのCO<sub>2</sub>発生量の比較



※出典:環境省請負調査平成16年度 容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業報告書 [https://www.env.go.jp/recycle/kyokai/c\\_3\\_report/pdf/h16\\_lca\\_chousa\\_honpen.pdf](https://www.env.go.jp/recycle/kyokai/c_3_report/pdf/h16_lca_chousa_honpen.pdf)



## 多様な個性を輝かせる

多様な個性を輝かせるために、  
ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。  
従業員のダイバーシティの理解度を高めるために、研修制度も強化しています。

### 女性活躍

#### 女性の活躍を支援する商品開発の実施

女性の活躍を支援する取り組みとして2023年より「育児と仕事の両立支援プロジェクト」を発足。女性の活躍が事業の成長につながると考え、本年は商品企画担当のスタッフが社内スタッフに対してのヒアリングをベースに、自身の育休を経て気が付いた育児のリアルな悩みを解決するために、女性ならではの視点でOUTDOOR PRODUCTS×FREAK'S STOREのペアレンツバッグを開発いたしました。多様化するニーズに応えるため女性の感性を活かした商品企画を実施してまいります。



### 研修制度

コンプライアンス研修

新入社員研修

入店前研修

階層研修

3カ年研修

入社オリエンテーション



## 障がい者雇用

### 障がい者雇用の背景

デイトナ・インターナショナルは、社会的責任、SDGsの観点から障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。

#### POINT 1 社会的責任の観点

「障害者雇用促進法」により、一定以上の規模の会社では障がい者の方を基準社員数の2.5%以上採用すべきということが定められています。  
当社は現在も達成に向けて尽力しております。

#### POINT 2 SDGsの観点

障がいをお持ちの方と一緒に働くことは、デイトナ・インターナショナルとしてのSDGs活動を推進することにも繋がると考えています。これは性別・国籍の違いや障がいの有無に関係なく誰もが活躍・成長できる場を提供することで「目標5」及び「目標10」の達成となるためです。

デイトナ・インターナショナルでは、現在本社を中心にそれぞれ得意なことを活かして業務に当たるほか、デフサッカー日本代表メンバーとして活躍しているデフアスリートの方もいます。

更なる採用促進のために、店舗を含めた全社で採用ポジションを検討し、さまざまな方が活躍できる環境を整え受け入れを実現していきます。



東京2025デフリンピックの気運醸成イベントとして、展示会やトークショー、デフスポーツ体験が渋谷区役所内で行われました。

そのイベントにて、デフリンピック代表選手として、当社社員の尾形 諒選手のコーナーが設けられ、等身大パネルやインタビュー記事、過去のメダルなどが展示されました。また、会期中には渋谷区立臨川小学校の約80名の生徒が来場し、尾形選手との触れ合いを楽しみました。直接交流することで、子どもたちもデフスポーツの魅力や楽しさを肌で感じる貴重な機会となりました。デフスポーツの魅力を再発見し、みんなで東京2025デフリンピックを盛り上げることを目指した今回のイベントは、渋谷区の取り組みによって大盛況のうちに幕を閉じました。

デイトナ・インターナショナルでは、このように障がいのあるアスリートが活躍できる場を広げるため、今後もさまざまなかたちで支援を続けていきます。

#### comment

デイトナは仕事も競技も本気で取り組める環境を用意してくれています。デフリンピック優勝を目指して頑張ります！



#### 尾形 諒

デフサッカー（聴覚障がい者のサッカー）日本代表選手  
サービス本部 人事総務部 総務課



## 音楽フリーク

2024年4月より様々な視点から音の楽しみ方を提案する企画「音楽FREAK」を始動しました。

本企画では、家族で音を楽しむためにNPO法人日本ミュージックフェスティバル協会が主催するイヤーマフ・レンド・プログラムの支援を行いました。



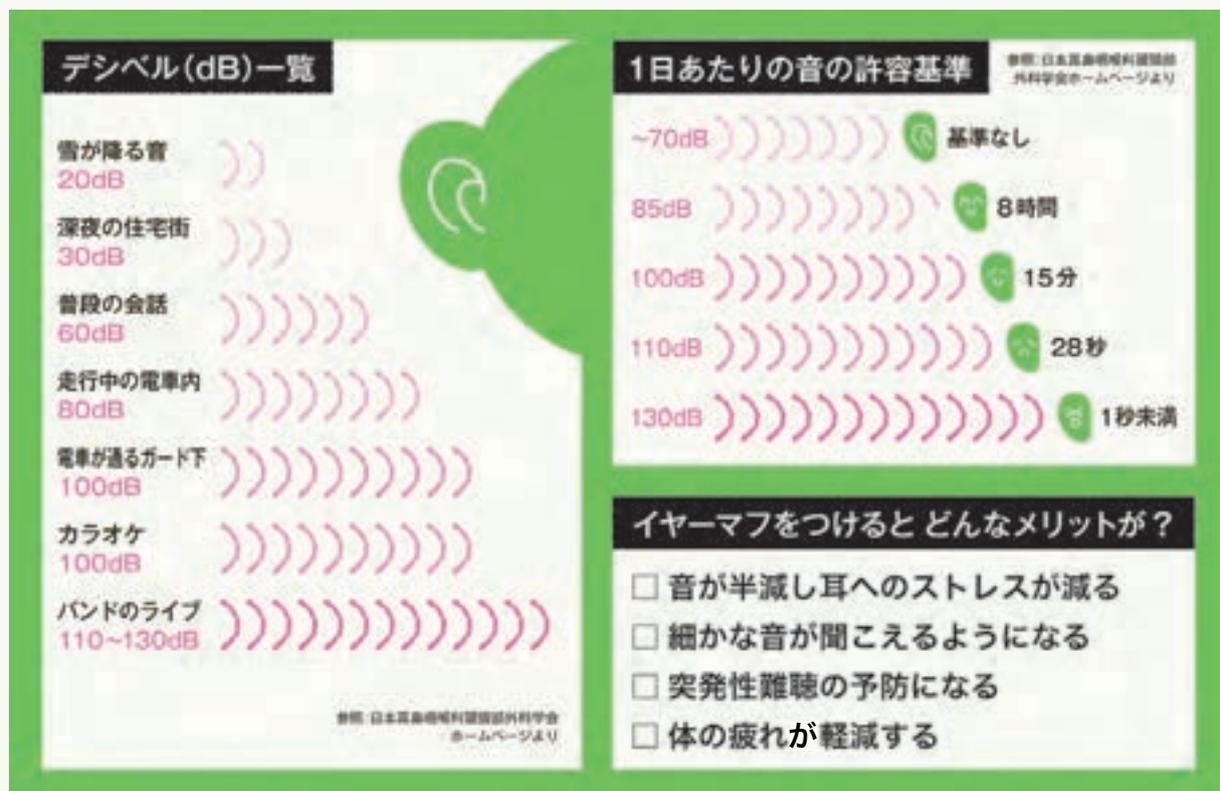
### 家族で音を楽しむために

#### その1 子供の耳のこと、かんがえてあげよう

ライブ会場では普段は聞かないような音量で音楽が流れていて、それが醍醐味のひとつでもあります。その一方で、耳はかなりのダメージを受けているとされ、大きな音が原因で突発性難聴になる例も少なくないです。特に、子どもたちのケアは怠ってはいけません。大人よりその影響が大きい上に、幼少期は耳のダメージに気づくことも、異変に気づくことも難しくなります。だからこそ大人がしっかり見守ってあげて対策を施してあげることが重要です。

#### その2 データーで見る音のこと、耳のこと

どのくらいの音量を、どのくらいの時間聴き続けていいかを知っていれば、対策の仕方も変わってくるはずですが、まずはデータを見て、耳の許容値を知ることが大切です。





## NPO法人日本ミュージックフェスティバル協会と FREAK'S STOREが推奨するイヤーマフ!



耳をすっぽりと覆い、外部の音を遮断してくれるイヤーマフ。工事現場をはじめとした大きな音が流れる場所で使われているものですが、ライブ会場も同じこととなります。常に大きな音楽が流れているからこそ、着用することで耳へのダメージを軽減してくれます。

そんなイヤーマフを、数年前から推奨するのがNPO法人日本ミュージックフェスティバル協会。子連れでも安心してフェスを楽しめるよう、イヤーマフの無料貸し出しを行っています。その活動に共感し、FREAK'S STOREも2022年から協力を開始したほか、コラボレーションモデルも制作しました。家族で音を楽しむために、これからもイヤーマフ・レンド・プログラムへの協力を継続していきます。

### NPO法人日本ミュージックフェスティバル協会について

ミュージックフェスティバルの振興や発展に寄与する活動を行うNPO法人。活動の一環として様々な形でのオーガナイザーの支援活動や、フェス会場における子供向けイヤーマフの無料貸し出し等を行っています。会長は数々のメディアでフェスやカウンターカルチャーの情報を発信し続け、現在はフリーペーパー『DEAL』の編集長を務める菊地崇氏。菊地氏は年間約100本のフェスやライブに足を運んでいることから『フェスおじさん』として知られています。



### 2024年出展フェス一覧

- |  |   |
|--|---|
| 第1回:みたくさんふえすていばる2024                               | 第16回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@名古屋                |
| 第2回:春風   | 第17回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@広島                 |
| 第3回:結いのおと  | 第18回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@横浜                 |
| 第4回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@幕張メッセ          | 第19回:HAPPY FARM MUSIC FESTIVAL2024                      |
| 第5回:ARABAKI ROCK FEST.24                           | 第20回:いのちの祭り2024   |
| 第6回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@福岡             | 第21回:ONE PARK FESTIVAL 2024                             |
| 第7回: IMIZU MUSIC FESTIVAL- ONE FES 2024            | 第22回:New Acoustic Camp 2024                             |
| 第8回:OGRE YOU ASSHOLE ""DELAY 2024""@八ヶ岳            | 第23回:りんご音楽祭   |
| 第9回:SWEET LOVE SHOWER SPRING 2024                  | 第24回:朝霧JAM  |
| 第10回:サカナクションSAKANAQUARIUM2024"turn"@仙台             | 第25回:LIVE AZUMA 2024                                    |
| 第11回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"<br>@札幌北海きたえーる | 第26回:THIS FES '24 IN SAGAMIHARA                         |
| 第12回:GREENROOM FESTIVAL 2024                       | 第27回:YOASOBI DOME LIVE 2024 "超現実" @京セラドーム大阪             |
| 第13回:サカナクションSAKANAQUARIUM 2024"turn"@大阪城ホール        | 第28回:YOASOBI 5th ANNIVERSARY DOME LIVE 2024<br>"超現実"@東京 |
| 第14回:ITADAKI THE FINAL                             | 第29回:DIGGIN' UP THE ROOTS                               |
| 第15回:THE CAMP BOOK 2024                            | 第30回:LOCAL GREEN FESTIVAL '24                           |

# 04

## 地域の魅力を最大化し、発信する

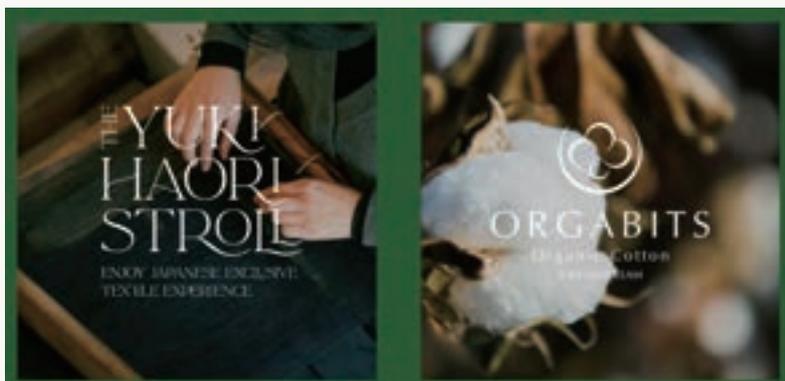
さまざまな地域コミュニティや社会の「課題」を、「魅力」へ変換。次世代を担うユースに寄り添ったデザイン・プロダクト・サービスでコミュニケーションを再設計、包括的な課題解決に繋がっていきます。

### 古河市との包括協定連携によって誕生したコミュニティ型コワーキングスペース『&FREAK.』の活用



#### サステナビリティ体験！ ZOZO x FREAK'S STORE

ZOZOとの共同プロジェクト「connect project」の企画として“The Camp”FREAK'S STOREにある『&FREAK.』にてイベントを実施しました。



茨城のユネスコ無形文化遺産である結城紬の糸紡ぎ体験（講師：結城紬rico）とオーガニックコットンの綿繰り体験を開催しました。

当日は地域の学生から、近隣住民の方などが参加し、ファッションとサステナビリティの関係性を知ってもらう機会となりました。

## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 茨城 IBARAKI



## フェスのごみ問題を解決！ 「CLEAN WALK EVENT@結いのおと2024」 Supported by ZOZO&FREAK'S STOREを実施



茨城県結城市で行われた音楽フェス「結いのおと」会場周辺にてごみ拾いイベント「CLEAN WALK EVENT@結いのおと2024」を実施。フェス出展者、フェス参加者、ボランティア等30名が参加し、交流を深めながらごみ拾いをおこないました。

5チームに分かれてごみ拾いを実施。街なかだけでなく、フェス会場に隣接する公園など幅広くごみを拾い、70ℓのごみ袋10個分のごみを回収しました。

さらに、クリーン活動で回収したペットボトルやペットボトルキャップは、「Made by ZOZO」で販売する、FREAK'S STOREの商品のボタンとして使用しています。



## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 静岡 SHIZUOKA

## アパレル企業初となる静岡市との 包括連携協定を締結。

静岡市の魅力を発信し、地域の活性化等に関するプロジェクトを推進しています。



2024年6月に、アパレル業界初となる静岡市との包括連携協定を締結。  
静岡市の魅力を発信し、地域の活性化等に関する協定を締結しました。



FREAK'S STORE

### 協定における連携項目

- 1 農業振興に関すること
- 2 観光振興及び市政情報の発信に関すること
- 3 中心市街地の活性化に関すること
- 4 その他、相互に連携及び協力が必要と認められる事項に関すること

## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 静岡 SHIZUOKA

## 連携による取り組み

連携による取り組みとして、2024年には静岡の奥静岡エリアの魅力を発信すべく「オクシズ」PR動画の制作や、静岡市の特産品「わさび」のPR促進を行いました。

## その1 静岡の魅力を発信！「オクシズ」PR動画の制作



「オクシズ」と呼ばれ、県民に古くから親しまれている静岡県静岡市の中山間地域にある「奥静岡」。地域特有の風習や祭事などの文化や、わさびやお茶など人の手と心で作られた作物と加工品の数々、棚田や茶畑といった美しい景観など、素晴らしい地域資源に溢れているオクシズの魅力を発信すべく、PR動画をFREAK'S STOREが制作しました。

## その2 「父の日」はわさびの日！静岡市産わさびのPR促進

より多くの方に静岡市産わさびの魅力を知ってもらうため、6月第3日曜日（父の日）の「わさびの日」にちなんで、6月に開催されたイベント「おまちでわさび」にて、わさびにちなんだノベルティを用意。静岡紺屋街名店街にて限定ステッカーの配布及び、FREAK'S STORE静岡へのご来店でわさびに合う限定お茶漬けをプレゼントしました。



## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 長野 NAGANO

## 長野県庁とタッグを組み 高校生に向けたヘルメット着用推進プロジェクト 「通学白書」を始動！



FREAK'S STOREは、長野県庁とタッグを組み、2024年9月の秋の全国交通安全運動出発式を皮切りに、高校生に向けたヘルメット着用推進プロジェクトを始動しました。長野県内でのヘルメット着用率が向上することを目的とし、「通学白書 “行きも帰りも青春です”」をテーマに、長野県の高中生参加型のヘルメットシェアリレーキャンペーンの開催や、FREAK'S STOREとヘルメット専門ブランドbern(バーン)との共同企画によって生まれたヘルメットを発売。



佐久長聖高等学校からスタートしたヘルメットシェアリレーは、次の東海大付属諏訪高等学校へと受け継がれ、最終的には県内全7校30名にも及ぶ学校と生徒が参加されました。

FREAK'S STOREと長野県庁は、活動を通じて多くの高校生がヘルメット着用の大切さを認識し、またその姿が周囲にも広がることで、長野県全体でのヘルメット着用率向上を目指しています。

協力高校 / 佐久長聖高等学校、東海大学付属諏訪高等学校  
梓川高等学校、第一学院高等学校、白馬高等学校  
長野東高等学校、上田染谷丘高等学校



## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 静岡 SHIZUOKA

## FREAK'S STOREが提案する“食べるSDGs” 「爆裂!シナノポップ」から、 フレーバーポップコーンが新登場!



2022年にスタートしたFREAK'S STOREが手がける再エネプロジェクト「フリース電気」と長野市を拠点に活動をするNPO法人「シナノソイル」がタッグを組み、耕作放棄地を有効活用した長野県産のポップコーン用とうもろこし「爆裂!シナノポップ」を栽培する活動も3年目に突入。 ※参考:フリース電気 <https://daytonajp.com/denki/>



1年目は長野県松代町、2年目は須坂市、3年目は小諸市の3エリアにて栽培を拡大。年間収穫量が400kgを超え、さらに農ライフアンバサダーとして活躍されている武藤千春さんも加わり、活動の輪を広げています。この取り組みで収穫した希少な国産のポップコーンを、今年度は長野県産のフレーバーを使用した美味しいポップコーンとして加工し商品化しました。FREAK'S STORE長野とFREAK'S STORE軽井沢・プリンスショッピングプラザにて販売開始しました。

「爆裂!シナノポップ」/ フレーバー3種

あんバター

信州ハニーストロベリー

信州七味味噌



## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 北九州 KITAKYUSHU

## 地域を応援！ 北九州にフォーカスをあてた、「地球の歩き方」とのコラボレーション企画



2024年2月発刊「地球の歩き方 北九州市」に掲載されている小倉駅周辺の名店「シロヤ」「ぶらっとびっとかきわうどん」「Sandwich Factory OCM」「白頭山」や、JR小倉駅をモチーフとしたスペシャルグッズをFREAK'S STOREがプロデュース。

地域の名店を盛り上げるべく、コラボTシャツやキーホルダーなどを発売。北九州市の魅力発信につながりました。



旅行に最適！  
FREAK'S STORE限定のキービジュアルを  
プリントしたデニムポーチのノベルティ



キービジュアル



小倉の名店キーホルダー(全5種)



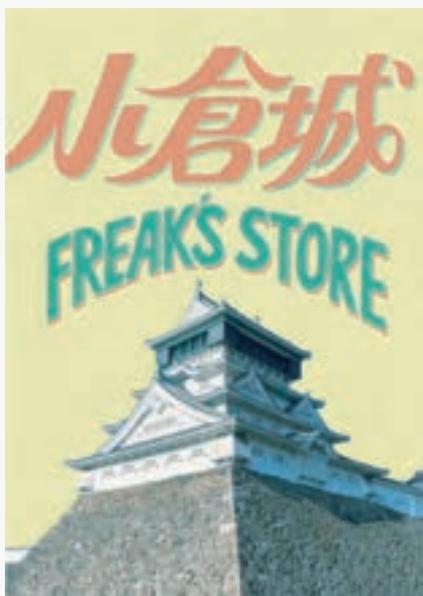
小倉の名店コラボTシャツ(全6種類)

## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 北九州 KITAKYUSHU

## 日本一おもしろき城、 小倉城とのコラボレーションで地域活性化を促進



### コラボレーションアイテムのプロデュース

小倉城天守閣の再建65周年を記念したコラボレーションイベントとして、小倉城モチーフのコラボレーションアイテムに加え、小倉の名店シリーズの復刻版アイテムを発売しました。



### キタキュ〜スタンプラリー

小倉城にて配布しているスタンプラリーの台紙に、「小倉城」、「Sandwich Factory OCM」、「シロヤ」、「小倉駅」、小倉駅ホーム内の「ぶらっとびっと」「かしわうどん」、「白頭山」のスタンプをゲットし、最後に「FREAK'S STORE アミュプラザ小倉ウィメンズ」にてスタンプラリーを完成させると、この期間でしか手に入らないオリジナルのステッカーセットをプレゼントする企画を実施しました。

### 一夜限りの限定LIVE!

北九州出身、  
芸人ドーナツ・ピーナツの  
お笑いLIVEを開催!



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD

北九州出身のお笑い芸人 ドーナツ・ピーナツによる、一夜限りの限定お笑いライブを行いました。また、LIVE終了後にドーナツ・ピーナツの握手会+写真撮影会を実施。たくさんのお客様に好評をいただき、地域活性化に貢献しました。

## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 千葉 CHIBA

沿線地域の魅力向上及び活性化を目指したプロジェクト 『京成フリーク』第2弾

## 「桜に染まるまち、佐倉」をプロデュース



千葉県佐倉市の魅力向上及び活性化を目指し、千葉県佐倉市・京成電鉄・千葉グリーンバスが連携し実施する“佐倉市への誘客を目的とした観光キャンペーン「桜に染まるまち、佐倉2024」”内のコンテンツ、〈記念ヘッドマーク〉や〈京成“桜”駅記念乗車券(レジャーシート付)〉をFREAK'S STOREがデザイン・監修しました。



COMMUNITIES

地域との取り組み

千葉 CHIBA

沿線地域の魅力向上及び活性化を目指したプロジェクト 『京成フリーク』第3弾

東成田駅を活用したイベントを開催！



成田市制施行70周年記念の協賛事業で、東成田駅を舞台にした体験型イベントを2日間限定で開催。

普段立ち入ることができない東成田駅(旧成田空港駅)の未使用ホーム及び未使用コンコースを利活用し、平成ノスタルジースタンプラリーや“光と音”のデジタルインスタレーションなどノスタルジックな体験型のコンテンツや「成田空港駅」時代のポスターや初代スカイライナーを復元したフォトスポットを設置し、まるでタイムリープしたような空間を企画しました。ユニークベニュー企画として地域活性化を推進しました。



## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 渋谷 SHIBUYA

## 骨髓バンク登録・献血啓発イベント「東京雪祭り2024」 オフィシャルスタッフユニフォームをプロデュース！



一般社団法人SNOWBANKが主催の都市型フェスイベント「東京雪祭り2024」のオフィシャルスタッフユニフォームをプロデュースしました。

「東京雪祭り2024」は、普段献血ルームに足を運ばない若者に献血・骨髓バンクを知って行動してもらおうキッカケの場づくりとして開催されるフェスイベントです。FREAK'S STOREは、献血・骨髓バンク若手ドナーの不足の課題解決のため、一般社団法人SNOWBANKと2017年から「楽しいから始まる社会貢献」をテーマに活動しています。

SNOWBANK創設当初から掲げるスローガン「PAY IT FOWERD」=「自分が受けた善意を他の誰かに渡すことで、善意をその先についでいくこと。」と、自分たちがスタートラインに立ち活動を広めていこう、という意味を込めた「ON YOUR MARKS」=「位置について」というスローガンに加え、STARTING LINE FOR EVERYONE」=「ここがみんなのスタートライン」をFREAK'S STOREらしいデザインに落とし込み、プリントしました。

## COMMUNITIES

## 地域との取り組み

## 渋谷 SHIBUYA

## 「再生FREAK」第1弾

渋谷区観光協会と古紙再生プロジェクトをプロデュース!



FREAK'S STOREは、一般財団法人渋谷区観光協会と、コアレックス信栄株式会社とともに、渋谷区内の古紙回収・再生プロジェクトを推進し、持続可能な地域社会の実現に向け、取り組みを日本全国に発信します。

この活動を通じて、ゴミとして捨てるはずだった古紙の新たな価値を創出しました。FREAK'S STOREらしいユニークなアプローチで、温室効果ガス排出抑制など環境負荷低減に寄与します。

渋谷区の小学校へ提供。  
環境問題について学ぶきっかけとなるように。



本プロジェクトで再生されたトイレトーパーの一部を、渋谷区立臨川小学校へ提供。子どもたちが環境問題に触れるきっかけとして活用。渋谷未来化学習の一環として、環境分野をテーマとした連携授業を実施。再生プロセスの「見える化」やイベント、ワークショップを通じて、次世代を担う子どもたちや地域の方々が環境への関心を高め、共創できる学びの場づくりを目指しました。

